

平成17年度 事業報告及び決算報告書

事業報告

1、法人の概要

- (1) 設置する学校の学科
愛知きわみ看護短期大学 看護学科
- (2) 設立の目的等

(1) 設立の目的

- 1、国民の期待にこたえる看護実践者の人材育成
医療現場からの要求と国民の期待は深い専門の知識・技術を持つ看護実践力のある人材を育成する。
- 2、愛知県における看護師の需要に対応する。
- 3、地域の保健医療従事者の確保対策の一翼を担う。

建学の精神

本学園の建学の精神は、

- 第一に地域に密着し、教養・技術の向上はもとより、地域の要請に応え、時期に即した教育を具体的に展開する。
- 第二に、社会がいかに大きく変わろうとも、建学の精神を一貫して堅持していくことである。すなわち「生命の尊重と人間の尊厳を理念として、幅広い教養と豊かな人間性を持ち、誠実、親切に人々と相互信頼を保ちながら、看護を実践し広く社会に貢献できる看護師を育成する。」ことである。この建学の精神に基づいて、これを教育実践する。

教育理念、目的

建学の精神に基づき幅広い教養と豊かな人間性を持ち、誠実、親切に人々と相互信頼を保ちながら、様々な環境・条件に応じて、看護の専門知識、技術を総合的な判断により創造的に対処・適応させる実践力の育成、臨床能力と調整能力を合わせた看護実践力の確かな育成をすることにより、健康福祉の向上に貢献できる看護師を育成する。

教育方針

教育目標

- 1) 深い専門の知識・技術を持つ看護実践力のある人材を育成する。
- 2) 人間を総合的に理解し対象の人権、価値観、尊厳を尊重した姿勢を堅持することができる人材を育成する。
- 3) 誠実な心で共感をもって人々に接することができる人材を育成する。
- 4) 学んだ知識・技術を活用し、対象の成長・自己実現を援助するとともに自身も成長することができる人材を育成する。
- 5) 看護の専門知識・技術を総合的な判断により創造的に対象に適応させた看護の実践ができる人材を育成する。
- 6) 研究に関心を持ち自ら向上させるように主体的に学習を継続する能力を持つ人材を育成する。
- 7) 看護の担うべき役割を展望し、発展させ得る基盤となる能力を持つ人材を育成する。
- 8) 社会の多様な情報を生かし、地域社会の発展に寄与する基盤を持つ人材を育成する。

- (3) 当該学校の学科定員、学生数の状況 (平成17年5月1日現在)

学科	1学年定員数	現員数
看護学科	80人	254人

- (4) 入試に関する状況

(平成17年5月1日現在)

年度	入試に関する状況								総合計			
	推薦	一般			総合計							
	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数
平成17年度	40	40	40	39	151	125	89	46	191	165	129	85

- * 推薦合格者 40名 → 入学者数 39名
* 一般合格者 89名 → 入学者数 46名
* 総合計合格者 129名 → 入学者数 85名

- (5) 役員・教職員の概要

① 役員

理事 理事長 伊藤伸一
理事 5名
監事 2名

② 評議員 13名

③ 教職員 29名

2、本年度の事業の概要

- (1) 当該年度の事業の概要

当該年度の事業計画、学生食堂、グラウンドが竣工することになり教育施設の計画は完了することになった。

- (2) 当年度に行った主な事業

平成17年度 施設充実充実計画について

- 1、愛知きわみ看護短期大学 学生食堂竣工 平成17年12月15日
- 2、愛知きわみ看護短期大学 グラウンド竣工 平成17年11月8日

3、財務の概要

平成17年度の収支決算

資金収支計算書・消費収支計算書及び貸借対照表の概要は次のとおりです。

- (1) 資金収支計算書

当該年度の学校法人の諸活動に対応するすべての収支の内訳並びに当該会計年度における収支資金の顛末を明らかにすることが、資金収支計算書の目的です。

- (2) 資金収支計算書

収入の部 991,026,293円
支出の部 991,026,293円

- (3) 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度における消費収支の均衡状態と内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、いわば企業会計の損益計算書にあたるものです。

平成17年度消費収支計算書

帰属収入合計 249,037,604円
基本金組入額 △122,646,762円
消費収入合計 126,390,842円
消費支出合計 358,261,941円
当年度消費支出超過額 231,871,179円
前年度繰越消費収入超過額 605,115,732円
翌年度繰越消費収入超過額 373,244,553円

- (4) 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における学校法人の財務状態をあらわした計算書類です。

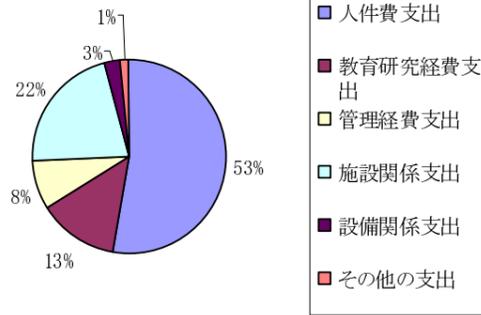
資産の部
資産合計 2,002,076,300円
負債の部
負債合計 103,998,825円
基本金の部
合計 1,524,832,922円
消費収支差額の部
翌年度繰越消費収入超過額 373,244,553円
消費収支差額の部合計 373,244,553円
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計 2,002,076,300円

決算報告書

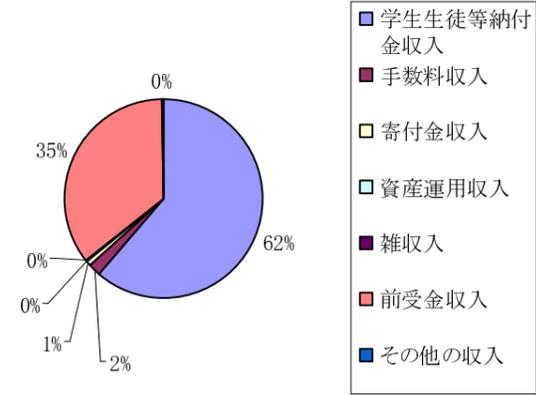
資金収支計算書 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	164,776,000
手数料収入	5,128,200
寄付金収入	2,000,000
資産運用収入	345,769
雑収入	526,035
前受金収入	94,650,000
その他の収入	431,072
資金収入調整勘定	△ 76,024,000
前年度繰越支私資金	723,169,217
収入の部合計	991,026,293
支出の部	
科目	金額
人件費支出	225,637,229
教育研究経費支出	56,588,248
管理経費支出	35,796,524
施設関係支出	92,430,565
設備関係支出	11,978,677
その他の支出	6,250,739
資金支出調整勘定	△ 2,567,626
次年度繰越支私資金	364,911,937
支出の部合計	991,026,293

資金収支支出



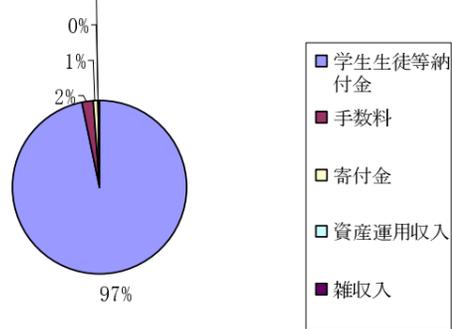
資金収支収入の部



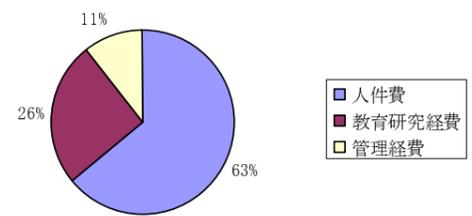
消費支出計算書 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

消費収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金	240,800,000
手数料	5,128,200
寄付金	2,237,600
資産運用収入	345,769
雑収入	526,035
帰属収入合計	249,037,604
基本金組入額	△ 122,646,842
消費収入合計	126,390,762
消費支出の部	
科目	金額
人件費	228,623,024
教育研究経費	91,755,746
管理経費	37,883,171
消費支出合計	358,261,941
当年度消費支出超過額	231,871,179
前年度繰越消費収入超過額	605,115,732
翌年度繰越消費収入超過額	373,244,553

帰属収入の部



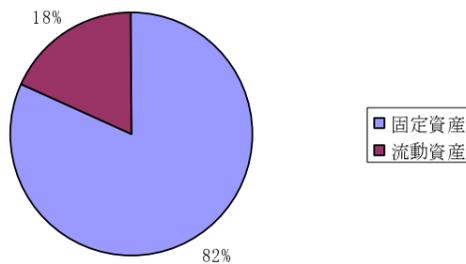
消費支出の部



貸借対照表 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

資産の部	
科目	金額
固定資産	1,636,013,146
流動資産	366,063,154
資産の部合計	2,002,076,300
負債の部	
科目	金額
固定負債	5,529,260
流動負債	98,469,565
負債の部合計	103,998,825
基本金の部	
科目	金額
第1号基本金	1,504,832,922
第4号基本金	20,000,000
基本金の部合計	1,524,832,922
消費収支差額の部	
科目	金額
翌年度繰越消費収入超過額	373,244,553
消費収支差額の部合計	373,244,553
負債の部、基本金の部	
科目	金額
および消費収支差額の部合計	2,002,076,300

資産



負債、基本金、消費収支差額の部

